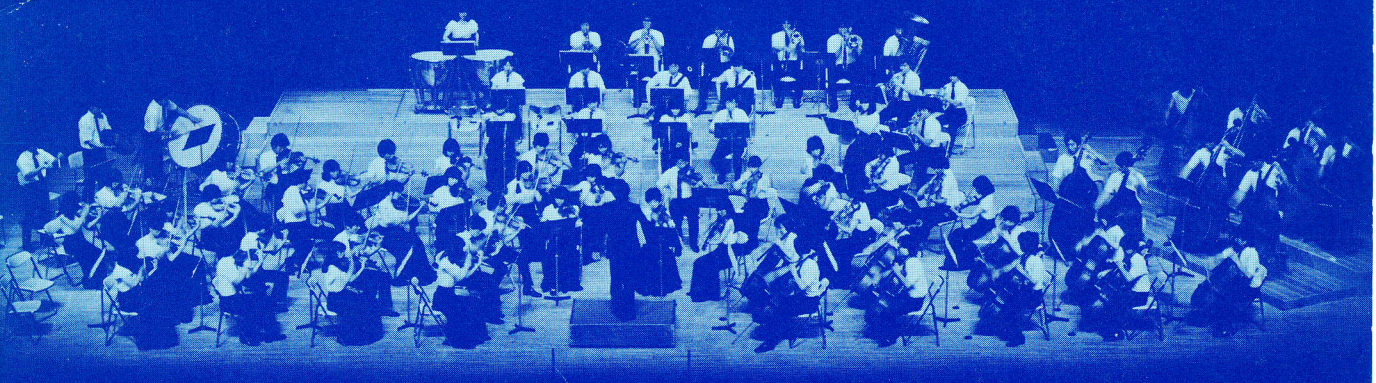
SUMMER CONCERT



神戸大学交響楽団

1984.6.29（金）6:30 p.m.開演

神戸文化ホール（大ホール）

主催　神戸大学交響楽団

後援　神戸新聞社、兵庫県オーケストラ協議会、（財）神戸市民文化振興財団

プログラム

喜歌劇「こうもり」序曲……ヨハン・シュトラウスII世

指揮　野　村　秀　彦

交響曲　第8番　ヘ長調……ベートーヴェン

指揮　守　山　俊　吾

―――――― 休　　憩 ――――――

交響曲　第5番　変ロ長調……グラズノフ

指揮　守　山　俊　吾

御　挨　拶

神戸大学教授　**新　保　　博**

本日は、神戸大学交響楽団のサマー・コンサートにお越しいただき、まことに有難とうございます。サマー・コンサートでは、気楽に音楽を楽しんでいただこうと、毎回趣向をこらしてまいりましたが、今回も特色のあるプログラムが組まれております。皆様があまりお聴きにならない曲目もふくまれておりますが、音楽の美しさ、楽しさは十分に味わっていただけるプログラムと確信しております。

われわれ神戸大学交響楽団は、今後とも皆様とともに歩みつづけたいと念願いたしておりますので、われわれのプログラムや演奏に対して忌憚のないご批判やご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

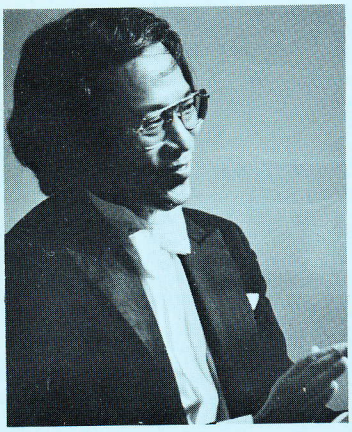
では、夏の宵のひとときを美しい音楽でお楽しみ下さい。

響友会々長　**岩　崎　純　一**

本日は神戸大学交響楽団により盛大なるサマーコンサートを開催されまして誠にお目出度う存じます。当大学音楽部の活発なるご活動に対して深く敬意を表すものであります。年々当交響楽団も内容が充実して参り立派な演奏曲目をもって盛大にコンサートを開催出来ることは我々響友会一同にとりましてもこの上もない喜ばしいことでありまして、これも一重に全員が日頃の熱心な練習の賜であると存じます。

どうか本日も大いに頑張って日頃の練習の成果を充分発揮して立派な演奏をせられんことを祈念する次第であります。

本日は多数の方々がご来場いただきまして誠に有難うございます。どうかごゆっくり最後までお聴き下さるようお願い申し上げます。



指揮　守山俊吾

1965年大阪音楽大学(クラリネット科)卒業。1971年渡欧し、イタリアのセントチェチリア音楽院のパオーネ、オーストリアのモーツァルテウム音楽院でイエッテルの各氏に師事。同音楽院のコンサートに出演。1975年ヴィエール・フィル(現在、関西フィル)とモーツァルトのクラリネット協奏曲を3度、1976年同オーケストラとウェーバーのクラリネット協奏曲第2番を、1977年大阪府音楽団定期演奏会にソリストとしてウェーバーのクラリネット協奏曲第1番を演奏する。1979年辻久子、村井祐児、瀬野光子、家村雅子各氏と室内楽コンサートに出演。現在、大阪府音楽団の指揮者として活躍中、関西フィル、また、アマチュアオーケストラとの共演も数多く、特にアフリカの子供たちへの「チャリティーコンサート」に情熱を注いでいる。喜田賦、村瀬二郎、宇宿允人の各氏に師事。本年バレエ「白鳥の湖」の指揮で関西フィルと協演、好評を博す。外国アーティストとの共演も多く、ウィーンフィル、ベルリンフィルのメンバーとのコンサートも予定されている。

弦トレーナー　佐々木　宏　先生（関西フィルハーモニー管弦楽団）
木管トレーナー　有馬博隆　先生（甲陽学園教諭オーボエ奏者）
金管トレーナー　山本昭一　先生（元日本フィルハーモニー交響楽団ホルン奏者）

指揮　野村秀彦

オケ内で最も真面目な人の一人が彼です。かつては、三クラトリオなどと呼ばれていましたが、その几帳面な性格が裏付けられていたからでしょう。しかしながら、本当は、暗いどころか、駄洒落と落語の好きな、そして、機知に富んだ若者なのです。

歴代の学指揮がそうであったように、研究心、情熱は人一倍強く、オケの世話役としてもなくてはならない存在です。クラリネット奏者としても名人肌で、柔かい音と超絶技巧は他の者を魅了して余りあります。

料理と折り紙の好きな彼の棒さばきを今宵ゆっくりお楽しみ下さい。

コンサートマスター　宮田知加子

「たたくもん」VnIのパー練は、まず宮田さんの「何かたたくもんない？」の言葉から始まる。「たたくもん」と言ってもVnIのメンバーを叩くのではなく拍子を打つために「たたくもん」なのだが、以前は私達が楽譜に注意等を書きこむためにもってきたシャープペンシルや鉛筆をその用に供したため、そのほとんどを破損してしまった。「地面につきさす楽器」これは宮田さんの弦セク中の発言もち論チェロ、ベースのことで「わしらは楽器を地面につきさしてるんやない、床に立ててるだけや」と彼らが不満を述べたことは言うまでもない。「のりとえのぐのかたまり」学食でアイスクリームを食べてると、宮田さんがやってきて、アイスクリームの成分表示を見ながら一言「人工糊料、人工着色料、こんなん食べたらからだに悪いよ、こんなんのりとえのぐのかたまりやないの…。」